

YALISH AIR FORCE.

第12回結果発表！
(ゲーム時間：1944年5月)

☆戦果報告

《基地》

ウィロビー准将：一体どうしたことだろう。敵は我々が一撃を与えただけで裏水道へ逃げ込み、姿を消してしまった。決して大損害という訳でもないのに……。現在偵察隊が必死で探しているが、未だに気配すら見せていない。「スル海に入れない」という所期の目的は達成できたようだが、その過程が気に入らんところだ……。

《空母》

ケーティス大佐：まずいぞ。敵は二手に分かれて姿を消しやがった。包囲するか、遠まわり回り込むかしてこつちを孤立させるつもりと見える。敵が大した傷をくらってないだけに、これからの対応には相当骨を折りそうだ。

作戦参加者の状態 (SD:撃墜機数 BS:爆破目標数 SP:評価ポイント OP:作戦参加回数)

プレイヤー	Sqn.	乗機	愛称	キャラクター名	SD	BS	SP	OP	階級	状態	機体		
香津美 どぶろく	F 2	FM	グラビトン	キディ	2	0	7	2	准尉	生還	無傷		
	F 2	FM	2巻	由貴	1	0	2	2	准尉	生還	無傷		
	F 2	FM	麒麟の御神刀	那魅	0	0	1	1	准尉	生還	無傷		
	1 2	FM	ゼオライマー	秋津 マサト					中尉	戦死			
	1 5	FM	紋章艦	アルデア					中尉	戦死			
宇垣麻美	F 1	FM	特車 2 2 1	泉 野明					中尉	戦死			
	F 1	FM	特車 2 2 2	太田 功					中尉	戦死			
	F 1	FM	ぐりふおん	バドリナート・ハルチャンド	3	0	8	2	准尉	生還	無傷		
	F 1	FM	トコリの橋	ブルーベイカー					中尉	戦死			
	F 1	FM	M 1 6 A 2	ラン	4	0	8	2	准尉	生還	無傷		
正宗征士	0 0	P 3 8	True Lightning	T.B. マガイア	2	0	4	3	1	0	大尉	生還	無傷
	1 5	FM	女戸島竹三	みづぼし 巽	1	0	9	3	3	准尉	生還	無傷	
	1 B	B a r	グーデの紋章	ジリオラ 他1名	0	3	1	9	3	少尉	生還	無傷	
	1 B	S B D	LOVELY ENGEL	オーリン 他1名				7	1	准尉			
	1 B	S B D	B. Bomber	ユリ 他1名	0	2	8	2	2	准尉	生還	無傷	
森田欽也	0 0	P 4 0	イスラエルの守り	J. ワーナー	0	0	1	1	1	准尉	生還	無傷	
	0 0	S p t	キング・アーサー	ビクター・ウィンダム						中尉	戦死		
	0 0	S p t	サー・パーシバル	ビクトリア・ウィンダム	1	0	2	1	1	准尉	生還	無傷	
	0 0	S p t	サー・ランスロット	グロリア・ウィンダム						中尉	戦死		
	0 0	P 4 0	シオンの子ら	A. アインシュタイン						中尉	戦死		
	0 0	F 5 U	T T Y F !	アンドリアルフス						大佐	戦死		
	0 0	F 5 U	デス・スペル	オロバス	2	0	7	8	7	少尉	生還	中破	
	0 0	F 5 U	ブルー・デュラハン	独雷安土	1	0	8	9	1	0	少佐	生還	無傷
	0 0	P 4 0	ポーバルブレード	DE A D M A N	1	0	2	4	2	少尉	軽傷	中破	
	0 B	F 5 U	ヘルボムバースト11	レヴァイアサン	0	0	6	8	7	大尉	生還	少破	
	0 B	F 5 U	ヘルボムバースト12	ケモス	0	0	4	9	5	大尉	軽傷	大破	
	0 B	F 5 U	ヘルボムバースト13	ヴァピュラ						中佐	戦死		
	0 B	F 5 U	ヘルボムバースト14	アザゼル						中佐	戦死		
	0 B	F 5 U	ヘルボムバースト15	ヴァレフォル						中佐	戦死		
	0 B	P 4 0	ヘルボムバースト21	カーチス・ニュートン						中尉	戦死		
	0 B	P 4 0	ヘルボムバースト22	サイモン・ライト						中尉	戦死		
	0 B	P 4 0	ヘルボムバースト23	エズラ・ガーニー	0	0	1	1	1	准尉	生還	無傷	
	0 B	P 4 0	ヘルボムバースト24	ジョー・ランドルー	0	0	1	1	1	准尉	軽傷	中破	
	0 B	P 4 0	ヘルボムバースト25	オットー・グラック						中尉	戦死		
	F 1	FM	—	チャーリー・ブラウン	1	0	2	1	1	准尉	生還	無傷	
	F 1	FM	—	フランク・ゴードン	1	0	2	1	1	准尉	生還	少破	

☆次回作戦

《基地》

准将：今回我々は、姿を消したイザベリア艦隊が本当にスル海に入れなかったのかどうかを確認する。スル海北部の三角形のコースを周回して、目視で点検する訳だ。第1波がはじめの定点に達したら、第2波が出撃する。第3波も同じ要領で出撃する。敵艦隊が見つかり次第、すぐに攻撃しろ。

《空母》

大佐：我々は究極の選択を迫られた。一気に敵首都のマニラを攻撃するか、それとも急いで味方の陣地まで引き返すかだ。いずれにしてもイザベリア軍の強力な妨害が予想される。…先程決定された作戦を伝える。わが艦隊はこのまま北上を続け、マニラ空襲を強行する！（まわりが騒然となる）作戦が完了し次第南シナ海を遠回りして南下、この海域担当の潜水艦の護衛のもとに本土へ帰還する予定である。これによりイザベリア艦隊は嫌が上にも本土へ防衛戦力を引き揚げねばならなくなるし、また、民衆に与える影響も大きいはずだ。この際、命中精度は考えるな。「首都に爆弾が落ちた」というだけで充分だから。

◇次回の編成

《基地》

70FW〈武装偵察〉（70BWと共同）

700FS…第1波 701FS…第2波 702FS…第3波

71FW〈武装偵察〉（70BWと共同）

703FS…第1波 704FS…第2波 705FS…第3波

70BW〈武装偵察〉

700BS…第1波 701BS…第2波 702BS…第3波

《空母（註）》

VF（Det. 1）…空母直掩 VF（Det. 2）…VB護衛

VB…爆撃（水平）

註：FMとSBDのみ参加可。

※空母シナリオは制式機使用キャラのみ選択可能です。※
※容量の関係上、空母は各隊先着順に10機までです。あふれたものは基地飛行隊の第1波に回されます。

☆Official Short Story.

「何たる醜態だ」

作戦本部は混乱の極みにあった。

「王党派の将校を左遷したのがまずかったのだ」「今更そんな事を言ってどうなる」

そんな議論がそこかしこで見られた。事実、本部にはベテランが決定的に不足していた。だが逆に、政治プロパガンダ上、古参（＝王党派）の者を使う訳にも行かなかった。「政治の矛盾」がそこにはあった。首相のB. B. ローランドは有能な政治家ではあったが、「現場」というものにはてんで疎かった。理論が先走るのだ。

ともかく現在軍の優先課題は、「姿を消し」たイザベリアの大艦隊の発見、そして撃滅だった。80隻近い艦艇が二手に分かれて行方をくらました。頼みの綱の機動部隊は猪突して連絡が取りにくくなっている。——最悪だった。既に敵主力がスル海に入っている可能性もあるのだ。北部方面の偵察機を総動員しても艦影一つ見つからないというのは、大失態もいいところである。この分だと戦争が終わったあと、軍の立場は著しく悪くなることだろう。——既に手遅れかも知れなかったが。

（本居こじ）

シ ョ ー ト ・ ス ト ー リ ー

☞教会のブリキの鐘が安っぽい音で正午の時を告げる。貴重な重金属はとっくの昔に徴用されている。ロバート・レーンはカピエング空軍基地に向かっていった。道行く人の顔は誇りに輝いている。しかし、その顔には喜びの色は見られなかった。自由の代償はあまりにも高いことを知っているからだ。人は追い詰められる程、誇りにすがろうとする。でなければ生きていけないからだ。

基地に着くと、講堂の横手に廻る。窓から覗くと全盛期の半分以下の入りだ。

「さて、どうしたことか……」と、志願者を数え始める。「ひい、ふう……」（みい）より早く背中にゴリッという感触と「スパイ容疑で逮捕する」という声。人の良い笑顔を作って振り返ると、マティーニがバーボンの瓶を持ってニヤニヤしている。

「よう兄弟！ハードボイルドでも読んできたか」

窓辺にいたドーラにも気付かれる。

「あら、あなたが大勢が決してない時に現れるなんて珍しいわね」

「自由と民主主義の危機を知って駆け付けたところだよ」

レーンは覚悟を決め、講堂へ入って行く。

（大阪府・栗原大輔）

⑤：おお、巨匠の復活（笑）。…敵しい時だからこそ、やめたりしないで下さいね。ゲームってものは、勝ちっ放しよりも少し負けてるぐらいの方が面白いはずですし。

PCリプレイ

士気を盛り立てるため、「ウリエル」艦内では常にスピーカーからグレン・ミラーが流されている。実は暗示音声が入っているのだが、兵たちはそんなことは知らない。艦長の趣味としてとらえていた。また、彼らもその軽快なリズムは嫌いではなかった。

昼、索敵に出ていた正規軍のF4Fが遂に敵を見付けた。ただちに出撃態勢が整えられ、知らないうちに艦長に踊らされている兵たちは飛び立っていった。

敵も艦上レーダーは持っていたが、雲が彼らに味方した。ロナルド・ハーウッドのSBDは敵駆逐艦に直撃弾を与えるが、彼は引き起こしを誤ってそのままその艦に突入してしまう。やはり半年のブランクは大きい。ブライアン・ショウは相手を選んだ。「アイゼンマオア（旧 蒼龍）」に向かってダイブをかけたのである。だが、その目論みは外れた。話に聞いていたよりもはるかに濃密な対空砲火の嵐が襲いかかる。しかもどうやらVTヒューズ（近接信管）を実戦化しているらしく、反れたと思った弾までが炸裂した。ひとたまりもなく火の球となり、戦果ゼロ。残っていたシェリー・マンは、補給艦に目を付けた。補給艦はそれほど対空砲を備えておらず、従って防御が脆い。…そして、命中。甲板に広げられていたキャンバスに火の手が上がる…が、致命傷とはならなかったようだった。

上空も善戦していた。キディと那魅は共同で「サッチ・ウィーブ」戦法をとって二機を撃墜するほかにも、かなりの敵機にちょっかいをかけて艦爆隊に戦闘機が行くのを防いだ。ただ那魅はオトリ役に専念したせいで、一機も戦果をあげていない。その点デニス・D・ロイドとロバート・レーンはよくできたコンビで、合計二機の戦果を一機ずつ分けあう形になっている。この辺はさすが最古参だ。

敵は二百余機中五機を失い、こちらは八十機中十八機（NPCを含む）を失った。損失率は痛いですが、しかし、五分以上の戦いだっただけで差し支えなからう。

香津美からの お原真い♡

森田さ～ん、次回からキャラのせめて四分の一は第1波以外の部隊へ回して下さい。じゃないと戦力が偏りすぎて、効率よく作戦が進められないんです。